

KAKEHASHI プロジェクト (招へいプログラム)

(対象国:米国、若手研究者第4陣)の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、アメリカ合衆国より若手研究者 42 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 2 月 24 日から 3 月 1 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

アメリカ合衆国 42名

3. 訪問地

東京都、広島県

4. 日程

- 2月24日(水) 成田国際空港より入国
- 2月25日(木) 来日時オリエンテーション

【日本の外交政策に関する講義】(外務省北米局)

- 1. グループ A·B: 【訪問】日本エネルギー経済研究所、株式会社 JERA
- 2. グループ C·D·E: 【訪問】日本国際問題研究所

キヤノングローバル戦略研究所(グループC・D)

外務省総合外交政策局政策企画室(グループE)

2月26日(金)

- 1. グループ A: 【訪問】米国大使館、【日本理解講義】明治大学、【視察】国会議事堂
- 2. グループ B·C·D·E: 【訪問】防衛省

三菱重工業 M's Square、日本原子力開発機構(グループ B)

在日米海軍横須賀基地(グループ C・E)

東京タワー (グループ D)

2月27日(土) 東京都から広島県へ移動

【歴史的建造物視察】広島平和記念資料館、平和記念公園(原爆ドーム)

2月28日(日)【地場産業視察】賀茂鶴酒造、西条酒蔵通り

【自然環境・世界文化遺産視察】宮島、厳島神社

【ワークショップ】報告会準備

2月29日(月)広島県から東京都へ移動、【報告会】

【訪問・視察】日本科学未来館(グループA)

JICA アフリカ部 (グループB)

国家安全保障会議 (グループC)

ー橋大学 秋山信将教授(グループD)

東京財団 (グループE)

3月1日(火)【歴史文化視察】江戸東京博物館(グループA·B·E)

遊就館・靖国神社(グループC)

【NPO 訪問】 ジャパンプラットフォーム(グループ D)

成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project (アメリカ) 若手研究者第4陣 プログラム記録写真



2月25日 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター (東京都)



2月25日 キヤノングローバル戦略研究所 (東京都)



2月25日 外務省政策企画室(東京都)



2月26日 国会議事堂視察(東京都)



2月26日 三菱重工業 M's Square (東京都)



2月26日 在日米海軍横須賀基地 (神奈川県横須賀市)



Rus Peri

2月27日 広島平和記念資料館 (広島県広島市)

2月27日 爆心地訪問(広島県広島市)



2月28日 賀茂鶴酒造 (広島県西条市)



2月28日 宮島、厳島神社(広島県廿日市市)



2月29日 日本科学未来館(東京都)



2月29日 報告会(東京都)

6. 参加者の感想

◆ 米国若手研究者

プログラム全体が大変勉強になるものでした。カケハシプロジェクトによって、私たちは広い視点で外交政策から産業、歴史に至るまで日本の社会全般の知識を得ることができました。言葉は通じなくても、これまで旅したどこの国よりも心地よい、温かいもてなしを受けました。日本は礼儀正しい社会であり、それに触れることができたことは大変嬉しいことでした。ほかの国と同様、日本も、経済、社会、安全保障面、また、人口、環境分野で様々な問題に直面していますが、これらの問題に対し独自の素晴らしいやり方で対処していると思います。

◆ 米国若手研究者

国際安全保障問題を専門に研究しているため、外務省、防衛省でのブリーフィング、そして日本国際問題研究所やキヤノングローバル戦略研究所などでのディスカッションに最も強い印象を受けました。その中でも最も貴重な経験は東シナ海や南シナ海での国際的な問題等、特定の政策について十分に意見交換ができたことです。今回の訪日で知り合うことのできた専門家との新しいつながりを今後も維持していきたいと思っています。KAKEHASHI Project により、参加者が日本で得た情報をそれぞれの研究に生かしていくことで我々の組織の日本の安全保障問題についてのプロジェクトの質を高め、太平洋を挟んで研究者と省員とのネットワークが築かれていくと思います。

◆ 米国若手研究者

私にとって最も印象深かったのは、日本の安全保障政策で、それは長期間にわたる憲法の履行によると共に、国家保障戦略と係争中の法律による最近の変化によるものです。日本は、平和的防衛の一例として、それが可能であれば他の国でも見習うべきものです。

また、日本が有する非常に豊かな遺産と伝統は、歴史的文化的名所で見られるだけでなく、日常生活にも表れています。その豊かな伝統は、日本の現代生活の革新と美しく融合しています。

◆ 米国若手研究者

私は、広島で原爆が投下された後の日本人の回復力、すなわち再建し、世界のために平和と 核の非拡散に力を注いでいることに最も感動しました。この出来事が日本の平和主義的外交政 策にどれほどの影響を与えているかを理解することができました。

また、日本人の親切さと礼儀正しさにも心を打たれました。誰もが私に対してやさしかったです。 私にとって興味深かったのは、日本の人々がアメリカ人に対してそれほど恨みを持っていない様子であることと、米国と日本の絆がいかに重要で強力かというのを知ったことです

7. 参加者の報告会での発表内容

Our Knowledge of Japan Before Versus After Visiting Japan...

Perspective Before Visiting Japan (key themes)

- POP CULTURE:
 - Anime, Sushi, Miyazaki films
- STRATEGIC/SECURITY:
 - U.S.-Japan Alliance
 - Advanced technology
- CULTURAL:
 - A polite and respectful culture
 - Demographics

Perspective After Visiting Japan (key themes)

- STRATEGIC/SECURITY:
 - A nation that promotes peace and stability;
 - Article 9
- CULTURAL:
 - A polite and respectful culture
 - A clean, quiet, efficient, and safe nation
 - Demographics (diversity, including Tokyo vs. Hiroshima (cities vs. rural regions)
 - Shintoism, Buddhism, and religious influences (the interest in harmonious coexistence)

プログラムを通じての気付き

LESSONS LEARNED

- Discovered the depth and unique nature of the alliance between Japan and the United States.
- Learned the far reaching implications of recent national security legislation, the reinterpretation of Article 9 of the Japanese Constitution, and the revision of bilateral defense guidelines.
- These changes will have a profound impact on the U.S.—Japan alliance, allowing both parties to reevaluate the scope of the alliance and maximize opportunities.

プログラムを通じての気付き

SPREADING THE WORD

- What: Photo essay on New Atlanticist with impressions and descriptions of meetings and sites
- ${}^{\bullet}$ $\,$ $\,$ $\,$ How: Post on Atlantic Council website and share on Facebook and Twitter
- $^{\circ}$ Why: To share our experiences and impressions of Japan with our colleagues and fellow international relations researchers through an easy to follow, visually attractive medium
- When: Mid-March
- . Who: Team effort to assemble the essay
- Audience: Atlantic Council colleagues and constituents -- policymakers (US and foreign government), researchers, and private sector partners

ACTION PLAN: DUE DATES & POINT PERSONS

- Memo March 5
- · Chapter Engagement (DC, NYC, TX, SF) March 25
- Truman Asia Expert Group Engagement March 10

EXTERNAL:

- Op-Eds Staggered March 20 April 20
- Social Media Now March 10 and ongoing
- External Collaboration Pending Asia Group discussion
- Our "day jobs" (informal) Ongoing

All tasks have point persons assigned. All delegation members have assignments.

アクションプラン

CSIS CENTER FOR STRATEGIC & INTERNATIONAL STUDIES

What we think now

- We can sense the "two lost decades," especially outside Tokyo, but were still very impressed with the technology we saw
- We were surprised by the consensus view of China presented by the speakers we met with
- We were also surprised by the confidence in Japan's political stability expressed by our speakers
- We gained a deeper understanding and appreciation of the importance for Japan of the U.S.-Japan alliance, and how invested Japanese are in U.S. domestic politics
- We deepened our understanding of the tension between Japan's commitment to pacifism and its threatening environment

アクションプラン

CSIS | CENTER FOR STRATEGICS INTERNATIONAL STUDIES

Moving forward

- Several group members are incorporating lessons from this trip into ongoing research on Chinese coercion, maritime domain awareness, military cooperation, Asian economic architecture and Japan-Korea & U.S.-India-Japan relations
- We will look for further opportunities to collaborate with Japanese experts organizations on future research
- Beyond specific projects, we will incorporate what we've learned into our ongoing research.
- We All Hope to Return To Japan!

5

プログラムを通じての気付き

アクションプラン